



2021年2月5日

各位

会社名 B-R サーティワン アイスクリーム 株式会社  
代表者名 代表取締役社長 渡辺 裕明  
(コード: 2268、東証 JASDAQ)  
問合せ先 執行役員 管理本部長 肥沼 邦幸  
(TEL 03-3449-0331)

2020年12月期 業績予想と実績値との差異  
及び剰余金の配当に関するお知らせ

2020年10月23日に公表いたしました業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

また当社は、本日開催の取締役会において2020年12月31日を基準日とする剰余金の配当を下記の通り決議いたしましたので、併せてお知らせいたします。なお、本件は2021年3月17日開催予定の当社第48期定時株主総会に付議する予定であります。

1. 業績予想と実績値との差異について

(1) 2020年12月期通期業績予想と実績値との差異  
(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 17,570	百万円 470	百万円 650	百万円 320	円 銭 33.21
今回実績(B)	17,441	599	768	442	45.92
増減額(B-A)	△129	129	118	122	12.71
増減率(%)	△0.7	27.4	18.2	38.1	38.3
(ご参考)前期実績 (2019年12月期)	19,317	515	777	439	45.59

(2) 差異の理由

新型コロナウイルス感染拡大防止による生活様式の変化を、ビジネス変革の機会と捉え、キャンペーンを「家族で、おうちで」といった持ち帰り商品を訴求する販売戦略、デジタル戦略等を講じ、売上高はほぼ予想通りとすることが出来ました。

また、販売費及び一般管理費では、売上に即した広告宣伝費を含むマーケティング投資の最適化、配送ルートや在庫の最適化による物流費の削減、Webを最大限活用した店舗指導などにより旅費交通費、会議費を大幅に削減するなど、経費管理コントロールを徹底した結果、営業利益、経常利益は前回予想を大きく上回り、当期純利益に関しましては38.1%増となりました。これは、販売奨励金の一部(178百万円)を損金算入したことにより生じた純利益増加分(55百万円)が含まれております。

## 2. 配当の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年7月22日公表)	前期実績 (2019年12月期)
基準日	2020年12月31日	同左	2019年12月31日
1株当たり配当金	20円00銭	10円00銭	15円00銭
配当金総額	192百万円	—	144百万円
効力発生日	2021年3月18日	—	2020年3月16日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

### (参考)年間配当の内訳

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期	期末	合計
当期実績(2020年12月期)	10円00銭	20円00銭	30円00銭
前期実績(2019年12月期)	15円00銭	15円00銭	30円00銭

当社は、株主の皆様への利益還元を重視し、業績等を勘案しつつ安定した配当政策を実施して行くことを基本方針としております。

今期の業績は、新型コロナウイルスの感染拡大により大幅な減収・減益を予想しておりましたが、その後の売上回復とコスト削減により、前期並みの利益を確保することが出来ました。

当期の期末配当につきましては、1株当たり20円00銭とさせていただきます。これにより、当期の年間配当は中間配当10円00銭とあわせて、前期同様に30円00銭となります。

以上